



日本サーバス本部会報 2017年11月26日発行

日本サーバス会長

11月の声と共に各地から初雪の便りも届き始めました。8月に本部会報をお届けしてからこの3ヶ月間、社会的にはいろいろなことがありましたが、みなさま、お変わりなくお過ごしのことと思います。

8月号の本部会報では関東支部の会員から、今年7月に国連で採択された核兵器禁止条約に関する記事を寄せていただきましたが、その条約制定に力を発揮した国際市民グループのICANがノーベル平和賞を受賞するというビッグニュースもありました。核兵器の使用を外交問題解決の脅しに使うという「手段」は「禁じ手」であるにもかかわらず、相変わらず跋扈し、暴発を招きかねない危険水域にまで達しています。今まさに、人間の英知が試されているときでしょう。命をかけて核廃絶を訴えられてこられた被爆者の方々の思いをSERVASもpeace builderとして受け継いでいきたいと願っています。

今号では、日本サーバス創設者のお一人だった天野初代会長の夫人・天野真佐子さんがご逝去されたのを機会に、日本サーバス草創期のことを、当時をよくご存じの方々に書いていただきました。ご一読くださいませ。

1	日本サーバスの創生とその永い歴史を振り返って	—名誉会長（近畿支部）
2	天野ご夫妻のこと	—T. K. 会員（関東支部）
3	国際サーバス会報 Headlines	—N. M. 国際部プロジェクトチーム
4	ServasOnline が使えるようになりました！	
5	Servas 交流を支えるヒントのいくつか	
	来訪トラベラーへの情報提供例	—I. Y. 会員（関東支部）
6	各支部の活動	
7	日本サーバス本部の動き	
8	編集後記に替えて	

1 日本サーバスの創生とその永い歴史を振り返って

近畿支部 名誉会長

1961年（昭和36年）私は新婚早々であったが、まだ向学心に燃えていた。アメリカに留学したいと思って英語の勉強に精出していた。英字新聞を購入し、毎日学んでいた。或る日、たまたまイギリス、オックスフォード大学のラッセル・シラー君の日本の人達に訴える記事がサーバス旅行中の米国から投稿掲載され、その訴えが私の心をとらえた。私はシラー君の呼びかけに答えて彼への手紙を書いた。言うまでもなく、当時未だサーバス組織は日本に導入されていなかった。

こうして、1962年（昭和37年）1月20日の横浜港着、貨物客船でシラー君の来日は実現。日本サーバスの創生に直接的に貢献したのである。彼の来日はマスコミの大歓迎をうけ、港は彼を迎えて大変な賑わいを見せた。その中にはシラー君の来日を心待ちにし、是非ともサーバスについて話合いたいと思っていた人達が、天野益夫さんを始めとして相当数いた。

シラー君は日本滞在中精力的に活動した。またシラー君はその短い滞在中私の招きで来阪、拙宅に滞在、大阪、京都、奈良を見学した。そして、来日直後からの天野さんの精力的な呼びかけで数か月後の1962年（昭和37年）9月8日に、日本サーバス友の会は38名の会員で発足したのである。

会員となった人の殆どが東京周辺在住者、大阪は1名（私1人）という出発となったが、小さいながらも活発な活動状態で、特に天野会長の活動振りはすさまじかった。

かくして、会員は日本国中にゆっくりとひろがり、日本の国際化がすすむ中で今日の形に到達するに至った。

会発足当初からの会員である私は間違いなく日本サーバス会員の最年長者であると同時に最長期会員である。過去の来訪者とのクリスマスカードの交換もまだ少数ながら続いている。

私は職業柄海外旅行は永年頻繁、アメリカ居住も体験していて、サーバスに無関係の海外友人もいるので、海外でのサーバス旅行はしなかったが、引退旅行としてはヨーロッパ、特にイタリーで友人宅をたずねる機会をもちたいとかねがね思っている。

2 天野ご夫妻のこと

関東支部 T. K. 会員

日本サーバスの初代会長（1962年～1980年）天野氏夫人が、10月14日に94歳でお亡くなりになりました。ご葬儀は3人のご子息と50年来通っておられたルーテル教会で営まれましたので、日本サーバスの名前で御香典や生花を捧げること

はありませんでした。

Mrs. 天野は東京の実践女学校の英文科を首席で卒業され、GHQ 事務所に就職する際に試験官 Mr. 天野の難しいテストを突破した縁で結ばれたとのエピソードが伝わっています。

控えめな方で、Mr. 天野のご存命中はほとんど表に立たれることはありませんでしたが、1962 年の日本サーバス創設以降は、来訪トラベラーのため、あるいは月例会の会場提供のため、大変なご尽力をいただきました。連日のトラベラー受入れで家族団らんの暇がなかったと後日述懐されたほどです。

例会は世田谷の天野さんのお宅と日暮里の竹島さんのお寺で交互に毎月ありました。日本サーバスの第一回国内会議が 1976 年に開催されたのも天野さんのお宅でした。

1980 年に Mr. 天野が急逝された後もサーバスホストを続けられ、多数のトラベラーがお世話になりました。2000 年 3 月に横浜港氷川丸で開催された国内会議に参加されたのが、公式行事でお目にかかった最後かと思います。

心からの感謝の念をもってご冥福を祈ります。

一方、Mr. 天野は神戸高商在学中に戦前最後の日米学生会議の最年少メンバーに選ばれて、宮澤喜一元首相等と一緒に渡米された方です。戦後 GHQ 勤務の後に東レにご入社、再開された海外輸出の尖兵として活躍されました。1962 年春に英国サーバスの会員だった学生 Russel Schiler さんが、来日時に新聞に投稿してホームステイのホストを求めた際に、自宅に受入れて彼からサーバス活動を紹介され、そのときにホストした 30 数名によって日本サーバスが結成されたのでした。

Mr. 天野は会社勤務の傍らで、サーバス活動を通じて日本人の国際性を涵養する理想を語られ、ゆくゆくは各県単位のサーバス組織を構想されていました。その際に強調されたのは「ボランティア精神」でしたが、当時はボランティアの語にはなじみが薄く、これを「奉仕」と訳すかどうか議論したものでした。早くから国際サーバスの会議にも参加され、国際役員として活躍も期待されていたのですが、定年退職直後に逝去されたのは実に残念でした。

天野ご夫妻等によって基礎を固められた日本サーバスは、最盛期には 400 名以上の会員を擁したものです。サーバス活動の意義や素晴らしさには時代を超えた価値があると思います。これからも新旧の会員が日本サーバスの興隆のために力をあわせていきたいと念願するものです。

3 国際サーバス会報の Headlines

国際部プロジェクトチーム N. M.

国際本部発行のニューズレターが届きましたが、それには次のような内容が盛り込まれています。

- 1) 昨年度国際本部の収入状況は安定
- 2) 次回（2021年）国際会議の開催地の募集始まる
- 3) 国際本部の財政担当者が辞任したので後任者を求める
- 4) 国際本部の昨年度活動状況を SERVAS. ORG 上に掲載中
- 5) SOL サーバス・オン・ラインがいよいよスタート
- 6) ルワンダ会議で決まったこと
- 7) イタリアで最初の青年部サマーキャンプ ～ 人権・移民・マフィア
- 8) 国連でワークショップ ～ 移民は受入国にどれほど脅威に？
- 9) サーバスアルバニア誕生
- 10) サーバストルコで今年も平和学習
- 11) 来年度平和カレンダー作成のため写真を募集
- 12) サーバストラベラーとして環境保全に役立つ投稿を募集
- 13) 英国とオーストラリアに新しい指導部
- 14) 国際本部決定事項
 - ・新しい財政担当者募集
 - ・ホームページ編集者募集 ～ 編集長、編集員、
 - ・フェイスブック担当者募集

*興味のある方は国際サーバスの Web ページをごらんください。
ServasOnline に入っていくときの最初のページから進んでいくことができます。

4 ServasOnline が使えるようになりました！

—ServasOnline に関するお知らせとお願い

日本サーバスのホストリスト情報は計画通り国際サーバスの ServasOnline (SOL) に組み込まれました！

SOL 管理者、各支部長、支部の編集担当の方々、会員の皆様のご協力のお陰です。皆さまに感謝いたします。

以下にお知らせとお願いを記します。

1. お知らせ

(1) SOL 上のアカウント数（登録会員）

日本サーバスから SOL へデータ移行した登録会員は 226 名でした。

内訳： 北海道支部（11名）、東北支部（15）、関東支部（50）、東海北陸支

部(40)、近畿支部(42)中国四国支部(18)、九州支部(50)

SOLヘデータを移行した国は10月現在で28ヶ国。日本は26番目でした。現在SOLを利用してホストを探すことのできる国々は以下の通りです。

France, Lebanon, Jordan, Saudi Arabia, Canada, South Africa, Costa Rica, Turkey, Guatemala, Brazil, Slovakia, New Zealand, Swiss, Sweden, Denmark, Cuba, Cambodia, Gambia, Austria, Czech Republic, Australia, Spain, Chile, Finland, Belarus, Japan, Iceland, Hungary (SOLヘデータ移行した順)

(2) SOLの利用・活用の案内及びそのお知らせ

SOLは国際サーバスのWebページ上でご利用できます。その操作・利用・活用については以下の日本サーバスのSOLに関するWebページ

<https://www.servas-japan.org/contents/SOL/SOL.html>

をご活用ください。このページには『SOLの実際の利用』及び『SOLの利用に関するお知らせと質問&回答』に案内、お知らせが用意されています。

(3) SOLの本格的な運用

当初の計画では、2017年12月までには全てのサーバス参加国がSOLシステムにデータを移行し、2018年1月より全面運用予定でしたが、データ移行が完了していない国があることから、少なくとも1年延ばしになるとの知らせがSOL本部からありました。

(4) LOI (Letter of Introduction) の発行方法

LOIは以下①か②のいずれかの方法で作成してください。

証明に必要なスタンプは、2018年12月末までは従来型の紙スタンプを使って発行することになりました。

- ① SOL利用：SOLに写真をアップし、自分のバックグラウンドの編集を行います。申請者のサインもSOLを使って完成させます。その後、SOLからダウンロードしたPDFファイルを支部長に送り、認定料を納めた後、支部長からのサインと紙スタンプが貼付されたLOIを受け取るようになります。
- ② 従来の方法：日本サーバスのWebページよりLOIのWORDファイルをダウンロードして、必要事項を記入(入力)、署名、写真貼付を行い、支部長にファイル添付で送信、あるいは郵送します。スタンプ代を納入確認後、支部長からLOIを受け取ります。

(5) 会員資格の有効期限

- 1) 2018年3月の国内会議までの対応

SOLでは会員資格の有効期限をデータの移行時に2017/12/31にしていた。それを12月初旬に2018/3/31に更新します。

- 2) 国内会議で審議

年会費の納入に関することや「会員資格の有効期限」等については、来年3月の国内会議で審議決定を予定しています。

2. SOLのご利用・活用のお願い

(1) SOLにログインし、利用に必要なパスワードの設定をお願いします！

(2) SOLの地図上に自分の住まいのマーク付けをしてください！

上に書いてあることが何のことかわからない方、やり方がわからない方は支部長と連絡をとられてください。もし、支部長とうまく連絡が取れない方はサーバ本部の会長宛にご連絡ください。サポートしていきたいと思えます。

5 サーバス交流を支えるヒントのいくつか

来訪トラベラーへのちょっとした情報、あると便利かも？

サーバス活動の基本は「トラベリング」と「トラベラーの受入れ」です。その活動を支えるためにみなさまそれぞれにいろいろな工夫がおありだと思います。

関東支部の I. Y. 会員は、ホスト依頼のメールが来たときには受諾の可否に関わらず、日本国内旅行について以下のようなインフォメーションを提供されているそうです。ご参考になれば、ということでした。ご紹介します。みなさまもどうぞ、いろいろなアイデアや工夫をお寄せください。(関東支部 I. Y. 会員提供資料)

Japan Rail Pass

Good for all national railway tickets and reserved seats for express trains.

(Excluding the fastest train) It goes by 7,14 and 21 days and not available once you come into Japan. You need to change it to a Pass after you decide the dates you would use during your stay.

Mobile phone

Half of the visitors to Japan cannot use their mobile phone. When you are in the airport, check whether you can use your phone. If not find a counter or some company in the airport and get a sim card attached to your phone so that you only pay at the rate as same as local Japanese do. Or you can get a rental mobile phone.

Once you come into the city it might be difficult to find a telephone shop for foreign visitors.

Exchange money from your credit card

You will find an exchange office in big cities. The surest way is to go to a big post office or Seven Eleven convenience store.

Prepaid IC card like Suica, Pasma, ICOCA...

You can use these cards for any train, subway, sometimes buses. You do not have to worry finding the fee for the ticket each time you take a train or subway. Japan Rail Pass covers the JR train, but not for the private railway. IC card widely covers. You only just touch the card on the reader when you go through the ticket gate. It is available to use the IC card at vending machines, shops, and some restaurants. It is also possible to recharge the card at the ticket machine easily.

6 各支部の活動

各支部から活動の報告が届いています。(9月～11月)

サーバス Web ページで詳細をぜひ、お読みください。

北海道支部：9月のサーバスデイ開催の呼びかけに応じ、例会が開催されました。諸議題と共に SOL についての共通理解が深められたそうです。

東北支部：10月支部会報発行。豊かな心温まる受入れ報告が掲載されています。

関東支部：10月に支部会が開かれ、関東支部内に「ウオーキング友の会」が結成されています。また、SOLの説明も行われました。ホームページが更新され、トラベラー報告も追加されています。

東海北陸支部：facebook を活用して支部内情報交換が盛んに行われています。楽しいサーバス交流が垣間見られます。10月に支部会報も発行されています。

近畿支部：10月に支部例会が開かれ、SOL やモンゴルとの交流、「折り鶴 GIFT」交流、東日本被災者の受入れ支援の取り組み等が話し合われています。11月の会報には、支部例会の様様やトラベリングやトラベラー受入れ報告が掲載されています。

中四国支部：広島市主催のイベント「国際交流フェスタ」で主として中四国支部が取り組まれている「折り鶴 GIFT プロジェクト」や「サーバスホームステイ」等の展示が行われたとお聞きしています。後日、詳しい報告が聞けるのを楽しみにしています。

九州支部：11月25日～26日に恒例の1泊秋例会が行われました。支部会報も10月に発行され、トラベリングや受入れ報告が多数寄せられています。例会報告は次回の会報で行われると思います。

7 日本サーバス本部の動き

1. 来年の国内会議開催要項が決まりました

出席を求められている方、ご都合がつかれる方のご参加をお願い致します。
出欠に関する詳しい情報は後日、連絡いたします。

1. 国内会議の開催期日・開催地等

- 1) 期日：2018年3月17日～18日
- 2) 開催地：関東支部内。東京都新宿区市谷本村町10-5（JICA市ヶ谷ビル内）地球広場 セミナールーム

2. 国内会議日程

- 1) 1日目 2018年3月17日(土)
12:15～17:40
懇親会 18:00～2000 情報交換会・夕食懇親会（同館内J's Cafe）
- 2) 2日目 2018年3月18日(日)
09:15～12:40

3. オープン討議について

- 1) 目的：全ての会員に直接意見表明できる場の設定
- 2) 補足
 - ①事前議案提出無しでも発言可
 - ②意見表明者は本人、もしくは本人に替わって質疑に答えられる人
 - ③進行は議長が行うが議決はしない
 - ④但し、会議での議決が必要と思われれば参加者の合意のもと、翌日の議題に提案できるものとする
 - ⑤そのとき提案された「議案」は他の議案と同様の扱いとする。

2. SOL への EHL データ移行が完了しました

上記4に記した通りです。各会員のログインも半数以上が完了しています。
各支部で、ログインに関するミーティングが開かれ、支部でのサポートが進んでいる証だと思います。みなさんに、世界の各地の会員と SOL 上での交流を楽しんでいただければと思います。最初はちょっとハードルが高いのですが、慣れたら便利なツールだなと思えてくるのではないのでしょうか。

3. 韓国から訃報が届きました

11月21日、元韓国サーバス会長のウム・ジェ・リャンさんが入院中の病院でご逝去になりました。81歳でした。

日本サーバスの多くの方が「オムさん！オムさん！」と親しみ、さまざまな交流でお世話になりました。日本サーバスと韓国サーバスが親しい間柄にあるのはオムさんの架け橋としての働きのおかげであったことはいまでもありません。

日本サーバスとしては韓国サーバス会長宛に弔意を表し、有志でご香典を差し上げました。また、役員メールでオムさんの訃報をお知らせしたところ、何人もの方々から思い出や追悼の言葉が寄せられましたので、それらを少しまとめて、韓国サーバスにお送りしたいと思っています。幸い日本語通訳をされている韓国サーバスの方が現在九州支部例会（11月25日～26日）に参加のため、来日中ですので、韓国語に翻訳を依頼したところ快諾していただきましたので、今、その準備中です。

日本サーバスとして、今までのご尽力に感謝し、ご冥福を心からお祈りしたいと思います。

日本でも、日本サーバスの発展に多大なご尽力をいただいた方々のご逝去の報をお受けしています。ご冥福を心からお祈りいたします。

8 編集後記に替えて

英語教師の研究会で以下のような英文に出会いました。これってサーバススピリットじゃない？と思いました。（出典が判明したら次号で報告致します）

出典を聞き損ねてきたのが残念ですが、ご紹介して編集後記に替えたいと思います。日本サーバス本部会報次号は2月に発行を予定しています。お風邪など召されませんようにお元気でお過ごしくださいませ。（編集責任者 サーバス会長）

Some people say “Yes”.

Some people say “No”,

That’s why we need to talk.

Some people do. Some people don’t.

So we must talk.

We are different, that’s why life is fun.

Being different is the start of knowing each other.

(後略)